

大切にしたいこと

田丸 あけみ

9月23日に、アトムと姉妹園のつばさ、両園の職員51名が集まり合同で前期総括会議を行いました。両園が合同で行う総括会議は、年に2回しかない貴重な会議です。

総括会議の議題は、両園の半年を振り返りながら、共通して考えていくべきことを絞り内容を決めています。今回は①家庭支援について②新体制の現状とこれからについて③園行事について④合研に参加した職員の発表報告。の4項目で行いました。(合研とは、全国保育団体合同研究集会の略で、毎年、全国の保育や子育てにかかわる人たちが集まり、保育について考え合う集会です。今年には埼玉県で行われ、つばさ共同保育園の主任が「よりよい保育と主任の役割」というテーマで発表しました。)

会議当日の議題提示の仕方や、進行に課題が大きく残る会議となり、反省も大きくありましたが、前半を振り返り、“後半何を大事に保育していくか。職員一人ひとりのスキルアップに繋げるには何をプラスしていくのか”など職員の発言を聞きながら、後半も自分を振り返り、子ども達を真ん中に、誠実に人の育ちに向き合い、視野を広げ考えられる会議を積み重ねていきたいと思いました。

そして、保護者からの投げかけも私達職員の気づきや学びに大きく繋がります。ぜひ、どんな事でも結構です。気になる事がありましたら、遠慮なく職員に伝えて下さい。

10月21日(土)に、アトムフェスティバルを行います。当日の取り組みを4,5歳児の子ども達が、自分達で考える子どもが主役のアトムフェスティバルです。

フェスの練習から当日までを楽しく取り組む子もいれば、緊張している子もいる。何をしようかと長く悩む子もいれば、直ぐに決める子など、本当に子ども達の心の中は、十人十色です。担任は、子ども達と話し合いながら、子どもがやりたいと思うことや担任がやってみようよと提案したことなどを話し合いながら、内容を一つ一つ決めていきます。子どもが取り組む事は、本人が決めるまで見守り、待ちます。

私たちは、大人の指導で頑張らせる事を目的にはしていません。フェスを作っていくプロセス(過程)を通して、見えてくる子ども理解を深める事を大事にしています。

子どもは、“自分は、こんな個性を持っているよ。”と色々な場面で自己紹介をしてくれます。普段は、おとなしい子もいざという時は、負けん気の強さを発揮する姿だったり、決めるまで時間がかかっても、決めた事にはとことんチャレンジする姿だったり、自己決定しても、失敗を見られるのが嫌で、葛藤している姿だったり、色々な個性を見せてくれます。子ども達が表現する事に、大人が良い悪いと判断するのではなく、そこから子ども理解や我が子理解を大人同士深めてほしいです。

当日も、出来る、出来ないという評価ではなく、ありのままの姿を見てあげて下さい。練習の時は、はりきっていた子も当日は、大勢の人の前に立つだけで精一杯になり「はずかしい」や「やりたくない」と言う子もいます。これも自己紹介の一つです。それも有りのアトムフェスティバルなのです。

どうぞ子ども達一人ひとりの姿を温かい眼差しで見守ってあげて下さい。

当日は、一人でも多くの職員がスタッフとして、子ども達を見守りたいと思いますので、フェス当日、家庭保育が可能な方は、ご協力よろしくお願ひします。